

クラウド型 PR 効果測定ツール「PR Analyzer」 新機能「AI 報道分析レポート」（β版）を提供開始 効果測定・レポート業務 480 時間分/年*を AI で完全自動化

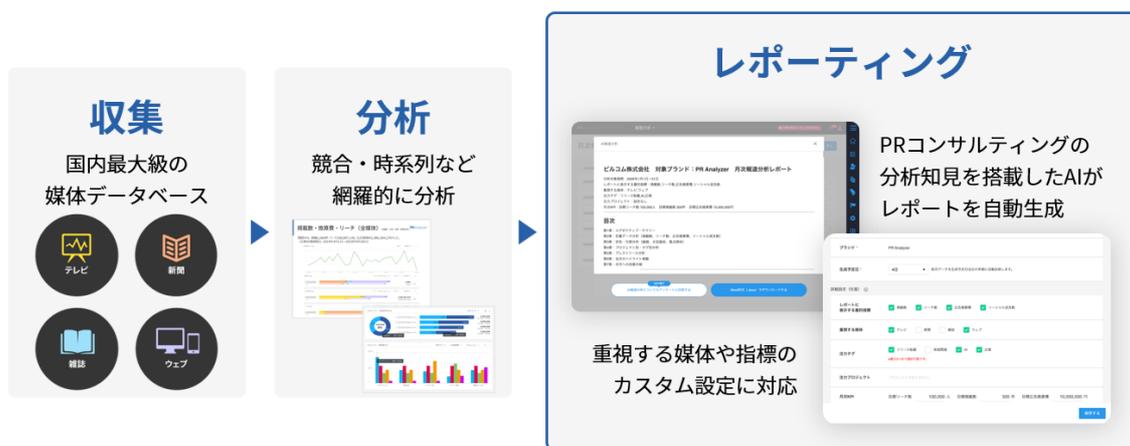
ビルコム株式会社（本社:東京都港区 代表取締役兼 CEO:太田滋、以下ビルコム）が開発・提供するクラウド型 PR 効果測定ツール「PR Analyzer」は、蓄積された大量の報道データと、当社が PR コンサルティング事業で培ってきた分析ノウハウをもとに、AI が月次レポートを自動生成する新機能「AI 報道分析レポート」（β版）の提供を開始しました。

本機能の追加により、PR Analyzer はこれまでの「収集」「分析」に加えて、「レポートニング」領域にも対応しました。今後もビルコムは、広報業務の AX（AI トランスフォーメーション）*を推進してまいります。

*AX（AI トランスフォーメーション）：AI の活用により業務プロセスや意思決定を高度化し、業務変革を進める取り組み。

PR Analyzer

膨大な報道データからAIが月次レポートを自動生成



■開発背景

近年、広報現場ではツールの普及により、メディア掲載や SNS 反応などのデータ収集の効率化が進んでいます。一方で、収集したデータを整理・分析し、レポートをまとめる作業は依然として手作業が中心となっており、担当者の大きな負担となっています。

海外の調査*によると、「PR プロフェッショナルのほぼ半数が、成功の測定と報告に業務時間の4分の1を費やしている」とされ、年間では約480時間に相当します。

そこで PR Analyzer は、長年蓄積してきた報道データと PR コンサルティングの分析知見を AI に組み込み、レポート生成を自動化する機能を開発。誰もが手軽に質の高いレポートを作成し、広報活動の成果や課題を把握できる仕組みを提供します。

*参照元 : Muck Rack 「State of PR Measurement 2023」

<https://muckrack.com/blog/2023/10/19/state-of-pr-measurement-2023/>

PR プロフェッショナルのほぼ半数が、成功の測定と報告に業務時間の 4 分の 1 を費やしていると報告されています。本リリースでは月間 160 時間 (8 時間×20 営業日) を前提に試算し、年間約 480 時間と算出しています。

■ 「AI 報道分析レポート」 (β版) 概要

本機能は、前月の報道データを AI が分析し、広報活動の成果や課題を整理した、経営層や事業部門への報告にもそのまま活用できる月次レポートを自動生成します。

▽特長

1. レポート作成を自動化

PR Analyzer の設定画面で分析対象ブランドと生成日を登録するだけで、毎月指定日にレポートを自動生成し、閲覧用 URL をメールで自動送付します。

2. そのまま使える Word レポート

生成されたレポートは PR Analyzer の管理画面から Word 形式でダウンロードできます。そのまま活用できるほか、必要に応じて加筆・修正を行うなど、業務フローに合わせて柔軟に利用できます。

3. PR プロフェッショナルの分析ロジックを AI に実装

本機能の分析アルゴリズムには、ビルコムが PR コンサルティング事業で長年培ってきた独自のニュース価値判定基準などの分析ノウハウを組み込んでいます。

4. KPI に合わせたカスタム分析

重視する KPI や注カプロジェクトを設定し、レポート内容に反映することができます。各社の広報目標に合わせたレポート作成が可能です。

▽出力されるレポートの項目

1. エグゼクティブサマリー

当月の広報活動の「成果」と「課題」を整理し、全体を総括します。

2. 定量データ分析

掲載件数、リーチ数、広告換算費、SNS 波及数などの数値データを整理し、広報活動の成果を定量的に分析します。

3. 定性・文脈分析

記事の論調、主役・脇役の位置づけ、重点媒体などを分析し、露出の質や文脈を可視化します。

4. プロジェクト別・タグ別分析

プロジェクトやテーマ別に露出状況を分析し、取り組みごとの成果を把握できます。

5. プレスリリース分析

配信したプレスリリースごとの露出状況や影響度を分析します。

6. 当月のハイライト掲載

特に注目度の高かった掲載記事やトピックをピックアップします。

7. 次月に向けた改善示唆

分析結果を踏まえ、次月の広報活動に向けた改善ポイントを提示します。

レポート設定 ×

基本設定

生成状態* 停止 生成予約

ブランド* PR Analyzer

生成予定日* 4日 ▼ 前月データを生成予定日当日の早朝に自動反映します。

詳細設定 (任意) ?

レポートに表示する量的指標 掲載数 リーチ数 広告換算費 ソーシャル波及数

重視する媒体 テレビ 新聞 雑誌 ウェブ

注力タグ リリース転載 株価関連 AI 広報
*最大3つまで選択可能です。

注力プロジェクト プロジェクトがありません。

月次KPI 目標リーチ数 100,000 人 目標掲載数 300 件 目標広告換算費 10,000,000 円

保存する

AI 報道分析レポートの例



AI 報道分析レポートの設定画面

▽提供開始日

2026年3月5日（木）

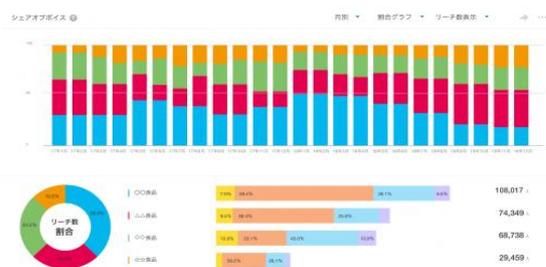
▽提供価格

- ・無料（PR Analyzer のユーザー様のみ）
- ・レポートの生成は1アカウントにつき1ブランドまで（月1回）

※複数ブランドをご契約いただいている場合でも、本機能の対象として指定できるのはいずれか1ブランドのみ

今後も、ビルコムは「AI 報道分析レポート」（β版）の利用ユーザーの声を踏まえ、PR Analyzer における AI 活用をさらに強化してまいります。

■クラウド型 PR 効果測定ツール「PR Analyzer」について



PR Analyzer は、テレビ、新聞、雑誌、Web と SNS を網羅したクラウド型 PR 効果測定ツールです。広告換算費、リーチ数、シェア・オブ・ボイスなど複数の指標を用いて、競合比較も可能です。

マスメディアを網羅したクリッピングツール・レポートや分析に活用される国内唯一の効果測定ツールとして、大手からスタートアップまで、多くの企業に導入されています。

PR Analyzer は手作業の多い広報業務の負担を IT によって解消し、働き方改革や業務効率化に貢献します。また、PR 活動の成果を定量化することで、事業成長に欠かせない戦略的な PR をサポートしてまいります。

<PR Analyzer の特徴> <https://www.pralyzer.jp/>

1. 主要な媒体を網羅したクラウド型 PR 効果測定ツール

テレビ、新聞、雑誌、Web 合計 7,000 以上の媒体に加え、X 上での言及数と口コミ内容、Web 記事の SNS 波及を網羅して効果測定を実施します。

2. テレビ視聴率など各種媒体データと当社独自ロジックでリーチ数を算出（※特許取得済）

1969 年に発行した月刊メディア・データに基づく媒体データや、テレビ番組やテレビ CM の調査・分析・配信を行っている株式会社ワイヤーアクションの TV メタデータ、株式会社ビデオリサーチのテレビ視聴データに加え、当社独自のロジックを組み合わせることで、記事・番組ごとのリーチ数を自動算出します。

3. 重要指標スコアを用いた競合比較機能（※特許取得済）

自社と競合企業のブランド名を設定することで、競合露出状況の確認、自社との比較・分析が可能です。リーチ数、掲載数、広告換算費などの重要指標、SNS 波及数を偏差値で相対比較し、自社の強みや弱みを把握することができます。

4. クリップングから効果測定・レポート生成・社内共有までを自動化

キーワードを登録するだけで、記事クリッピングからレポート生成まで一括して行います。過去の記事を遡ってクリッピングすることも可能です。

5. Web 記事の SNS 反響を可視化

Web 記事ごとに SNS へのシェア数など反響を確認することができます。これにより、ユーザーからの反響や情報拡散状況を特定・分析することができます。

6. X 上での言及数を分析

登録ブランド名について言及されたポスト数と口コミ内容を分析、可視化します。新聞・テレビ・雑誌・Web の露出と一元管理が可能のため、統合的な分析やレポート作成も可能です。

7. 大手企業中心に広がる導入企業実績

導入件数は 350 件を超え、日本航空、アスクル、ヤマハ、ニューバランス、DMM.com、メルカリなど、大手から中小企業まで様々な企業に導入いただいています。

8. 第三者機関からの評価実績

総務省後援の「ASPIC IoT・AI・クラウドアワード 2022」基幹業務系 ASP・SaaS 部門にて、先進ビジネスモデル賞を受賞しました。 ※特許番号：特許 第 6711870 号

ビルコム株式会社 会社概要

社名 : ビルコム株式会社

所在地 : 東京都港区六本木 6-2-31 六本木ヒルズノースタワー 11F

代表者 : 代表取締役兼 CEO 太田 滋 (おおた しげる)

設立 : 2003 年 10 月

資本金 : 2,000 万円

企業 URL : <https://www.bil.jp/>

加盟団体 : 公益社団法人 日本パブリックリレーションズ協会、一般社団法人 日本 A B C 協会、日本広報学会、一般社団法人 科学技術と経済の会など

ビルコム株式会社は、統合型 PR ソリューション、クラウド型 PR 効果測定ツール「PR Analyzer®」、国内唯一の広告媒体データベース「月刊メディア・データ®」を展開している唯一無二の PR Tech®カンパニーです。データとテクノロジーを活用して、事業に貢献するための広報・PR 活動を支援します。2026 年 3 月より、株式会社サニーサイドアップグループに参画し、PR Tech 領域を担う中核企業として、グループシナジーを活かしたサービス提供を推進しています。

本件に関する問い合わせ先

ビルコム株式会社 コーポレートブランディング部

TEL/03-5413-2411 E-MAIL/cb@bil.jp